

1. 科目名 (単位数)	人権教育 (2 単位)	3. 科目番号	GELA1305 GEBS1105						
2. 授業担当教員	金 龍哲								
4. 授業形態	講義、グループ学習、討議、発表等	5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・ 他科目との関係									
7. 講義概要	<p>○人権教育とは「人権尊重の精神の涵養を目的とする教育活動」(「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律第2条」)であり、国民は「人権尊重の精神の涵養に努めるとともに、人権が尊重される社会の実現に寄与するよう努めなければならない。」(同法律第6条「国民の責務」)とされている。</p> <p>○上記の趣旨を受けて、本科目においては、日本及び海外の人権課題(問題)の現状や解決・改善の取り組みについて理解を深める学習を行う。</p> <p>○学校や社会における継続した人権教育の必要性やその在り方を実践的に学習し、人権感覚を磨き、身に付けられるようにする。</p> <p>○人権教育に関わる基本的な法例等についても学習する。</p>								
8. 学習目標	<p>○人権の歴史や日本国憲法における国民の権利について再確認し、重要点についての理解を深めることができる。</p> <p>○人権教育の根拠法である「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」や「人権教育・啓発に関する基本計画」について、目的、基本理念、内容について理解を深めることができる。</p> <p>○『人権教育・啓発白書』に示されている我が国の人権課題を把握し、人権尊重に関する現状と諸課題についての理解を深め、人権課題の解決に努めていこうとする姿勢を身に付ける</p> <p>○学校や社会において、人権感覚を磨き身に付ける継続した取り組みの必要性について、積極的に授業に参加し、理解を深めることができる。</p> <p>○人権擁護を目的とする種々の国際法(条約)や国内法の概要を理解できる。</p>								
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. レポート課題: 「いま、私が考える人権問題」第2回 2. レポート課題: 「私の身の回りにある人権問題」第10回、 3. 人権について、事例や課題を取り上げて議論を展開する 								
10. 教科書・参考書・ 教材	授業関連内容の資料の配布 【参考資料】 上田正一、藤井徳行等編『初めての人権』法律文化社、2008。 堀尾輝久著『人権としての教育』岩波書店、2019。								
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人権教育の意義及び基礎を理解しているか。 2. 人権問題の現状や解決・改善の取り組みについて自らの問題として理解を深めているか。 <p>○評定の方法</p> <p>グループでの活動、授業への積極的参加度、レポート等を総合して評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 グループでの活動</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>2 積極的態度(発言、討議、取り組み等)</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>3 レポート等(小課題、試験を含む)</td> <td>総合点の50%</td> </tr> </table> <p>上記の他に、本学の規定に定められている3/4以上の出席が単位の取得条件であることも配慮する。</p>			1 グループでの活動	総合点の30%	2 積極的態度(発言、討議、取り組み等)	総合点の20%	3 レポート等(小課題、試験を含む)	総合点の50%
1 グループでの活動	総合点の30%								
2 積極的態度(発言、討議、取り組み等)	総合点の20%								
3 レポート等(小課題、試験を含む)	総合点の50%								
12. 受講生への メッセージ	<p>「人権」は現代の社会生活を生きる上で最も普遍的な価値の一つであり、誰もが避けて通れない基本的な課題です。この授業で、世界で、また身の回りに起きている人権問題の事例や課題を取り上げ、誰もが人としての権利が保障され、自分らしく生きることのできる社会の在り方について一緒に考えていきましょう。</p>								
13. オフィスアワー									
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	オリエンテーション: 人権教育の意義および本講義の方針について	事前学習	現時点での人権に関する考えを整理する						
		事後学習	レポート: 「いま、私が考える人権問題」をテーマにレポートを作成する						
第2回	「いま、私が考える人権問題」について発表、ディスカッションを通して認識の共有を図る	事前学習	プレゼンテーションの準備を行う						
		事後学習	発表後のディカッションを通して人権に関する認識を整理する						
第3回	人権とは何か①: 「世界人権宣言」を読み、その時代的背景や基本的な考え方を整理する	事前学習	「世界人権宣言」を読んでおく。						
		事後学習	「世界人権宣言」の骨子および基本的な考え方を整理する						
第4回	人権とは何か②: 人権に関する先行研究の成果を整理し、人権の定義と歴史的展開を理解する	事前学習	人権の概念や歴史的展開が把握できる資料を収集し、読んでおく。						
		事後学習	定義と歴史的展開のポイントを整理する。						
第5回	人権とは何か③: 発表 「児童の権利条約」を読み、教育における人権問題の現状と課題を考える	事前学習	「児童の権利条約」を読んでおく。						
		事後学習	権利条約の視点から教育における子どもの権利をめぐって何が問題かを整理する						
第6回	学校と人権①: (討論) 一人権の視点から体罰を考える	事前学習	自らの体験あるいは資料等から体罰の事例を収集しておく(発表準備)。						
		事後学習	人権の視点から体罰の問題点を整理する						
第7回	学校と人権②: (討論) 一人権の視点から見るいじめの本質を考える	事前学習	体験あるいは資料等からいじめの事例を収集しておく(発表準備)。						
		事後学習	人権の視点からいじめの本質をまとめる						

第8回	学校と人権③：(討論) —人権の視点から「子どもの貧困」を考える	事前学習	「子どもの貧困」関連のデータを収集する
		事後学習	子どもの貧困の問題を人権尊重の視点から分析し、要点をまとめる。
第9回	学校と人権④：(討論) —人権の視点から学習権を考える	事前学習	人間の学習する権利について指定された資料を読む(発表準備)
		事後学習	人間の持つ学習する権利の意義を整理する
第10回	「私の身の回りに起きている人権問題」について発表 ディスカッションを通して人権問題を身近な問題としてとらえる	事前学習	「私の身の回りに起きている人権問題」をテーマにレポートを作成する
		事後学習	討論を通して明らかになった身近な人権問題を整理する
第11回	社会と人権①(討論) —障害者をめぐる人権問題を考える	事前学習	障害者基本法を読む(発表準備)
		事後学習	障害者をめぐる日常の生活環境から問題点を整理する
第12回	社会と人権②(討論) —多文化共生社会とマイノリティの人権を考える	事前学習	文化的少数者であるために差別される社会問題を収集する(発表準備)
		事後学習	多文化共生の可能性を整理する
第13回	社会と人権③(討論) —男女の法律的平等と実質的平等の問題を考える	事前学習	男女平等の体験事例を抽出する(発表準備)
		事後学習	男女平等参画社会の実現に向けた取り組みと課題を整理する
第14回	社会と人権④(討論) —情報化社会における人権侵害を考える	事前学習	ネット社会の人権侵害の事例を収集する(発表準備)
		事後学習	ネット社会におけるプライバシーの保護及び子どもの安全対策を整理する
第15回	まとめ：発表 —人権尊重の精神の涵養を目指した授業設計	事前学習	人権教育の具体的な実践として、授業案を作成する
		事後学習	人権教育の課題をまとめる
期末試験			